

「上位 200 位内に日本から 5 校 英教育誌世界大学ランキング」

英教育誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(THE)は9月27日、「世界大学ランキング 2024」を公表した。近年、低迷が続いていた日本の大学の順位が向上、上位 200 位内に前年を 3 校上回る 5 校が入った。東京大学の 29 位をはじめとする京都大学、東北大学、大阪大学、東京工業大学の 5 校すべてが前年より順位を上げているのも目を引く。日本以外のアジア・太平洋地域の大学も引き続き、高い評価を得ている。

中国本土の大学の躍進も続く。上位 200 位内に入った大学数は 13 と、一昨年(2022)の 10 校、昨年(2023)の 11 校からさらに数を増やした。1 位は 56 校の米国、2 位は 25 校の英国、3 位は 21 校のドイツで中国は 4 位。この順位は前年、前々年と変わらないが、米英ドイツの上位 3 カ国は、軒並み前年より数を減らしている。さらに清華大学、北京大学が 12 位、14 位とトップ 10 に急接近したのをはじめ、中国は 13 校すべてが前年より順位を上げているのが目立つ。

「世界大学ランキング 2024」トップ 200 に入った大学数が上位 13 カ国・地域

国・地域	大学数(前年)	最上位大学名	最上位大学の世界ランキング順位
米国	56 (58)	スタンフォード大学	2
英国	25 (28)	オックスフォード大学	1
ドイツ	21 (22)	ミュンヘン工科大学	=30
中国	13 (11)	清華大学	12
オーストラリア	=11 (10)	メルボルン大学	37
オランダ	=11 (10)	デルフト工科大学	48
カナダ	8 (7)	トロント大学	21
スイス	7 (6)	スイス連邦工科大学チューリヒ校	11
スウェーデン	=6 (5)	カロリンスカ研究所	50
韓国	=6 (6)	ソウル大学	62
日本	=5 (2)	東京大学	29
香港	=5 (5)	香港大学	35
フランス	4 (4)	PSL 研究大学	40

(タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「World University Rankings 2024」 「World University Rankings 2023」から作成) : 数字の前の=は、同順位(タイ)を示す

日本の大学は東京大学が前年の 39 位から 29 位に、京都大学が 68 位から同順位の 55 位

に浮上したほか、東北大学が 201–250 位から同順位の 130 位、大阪大学が 251–300 位から同順位の 175 位、東京工業大学が 301–350 位から同順位の 191 位と大幅に順位を上げている。世界大学ランキングでは、高等教育の世界的評価機関であるクアクアレリ・シモンズ (QS : Quacquarelli Symonds) のランキングもよく知られる。例年、THE のランキングでは、日本の大学の順位が QS のランキングに比べ相当低い傾向が顕著だった。しかし、今年の順位は今年 6 月に公表された「QS 世界大学ランキング 2024」の結果 (東京大学 28 位、京都大学 46 位、大阪大学 80 位、東京工業大学 91 位、東北大学 113 位) と、だいぶ差が縮まっている。

上位 10 位昨年と同じ米英大学

ランキング全体では、英オックスフォード大学が 8 年連続で 1 位となった。以下、米スタンフォード大学 2 位 (前年 3 位タイ)、米マサチューセッツ工科大学 3 位 (同 5 位)、米ハーバード大学 4 位 (同 2 位)、英ケンブリッジ大学 5 位 (同 3 位タイ)、米プリンストン大学 6 位 (同 7 位)、米カリフォルニア工科大学 7 位 (同 6 位)、英インペリアル・カレッジ・ロンドン 8 位 (同 10 位)、米カリフォルニア大学バークレー校 9 位 (同 8 位)、米イェール大学 10 位 (同 9 位)。順位変動はあるものの上位 10 位を米英の同じ大学が占めるのは前年と変わらない。

清華、北京大学トップ 10 急接近

このトップ 10 に急接近したのが前年の 16 位から 12 位に浮上した清華大学と 17 位から 14 位に浮上した北京大学。中国本土からはこのほか上海交通大学が 43 位 (前年 52 位)、復旦大学 44 位 (同 51 位)、浙江大学 55 位タイ (同 67 位)、中国科学技術大学 57 位 (同 74 位)、南京大学 73 位 (同 95 位タイ)、四川大学同 150 位タイ (同 196 位タイ)、華中科技大学同 158 位タイ (同 176 位タイ)、武漢大学同 164 位タイ (同 173 位)、ハルビン工業大学同 168 位タイ (同 351–400 位)、北京師範大学同 177 位タイ (同 251–300 位) 同済大学同 185 位タイ (同 251–300 位) と、上位 200 位内に入った 13 校すべてが順位を上げている。

THE は「中国の台頭は 21 世紀における重大な出来事のひとつであり、中国の高等教育制度が向上し続けていることは驚くことではない」(元米ノースカロライナ大学所属の中国専門家)、「米国と英国は依然として大学ランキングをリードしているものの、相対的な力は衰えている」(英シェフィールド・ハラム大学シェフィールド教育研究所教授) という言葉を紹介している。同時に上記の元米ノースカロライナ大学所属の中国専門家が「中国の優秀な教育機関は非常に強力であるが、上位 25 校以外では質の低下が非常に激しい。中国当局は、現在存在する格差を確実に改善できるようにしなければならない」と語っていることも明らかにしている。

アジア・太平洋地域大学高評価

中国以外のアジア・太平洋地域の大学も引き続き、高い評価を得ている。シンガポール国立大学と南洋理工大学のシンガポール2大学が、19位（前年19位）、32位（同36位）と引き続き高順位につけている。香港も、香港大学の35位をはじめ200位内の5校すべてが上位100位内に入っているのは前年と変わらない。オーストラリアもメルボルン大学の37位をはじめ、前年より1校増の11校が上位200位内に入った。韓国もソウル大学の62位をはじめ、前年と同数の6校が入っている。

「THE 世界大学ランキング 2024」 トップ 200 内のアジア・太平洋大学

世界順位	前年順位	QS ランキング 2024 順位	大学名	国・地域
12	16	25	清華大学	中国
14	17	=17	北京大学	中国
19	19	8	シンガポール国立大学	シンガポール
29	39	28	東京大学	日本
32	36	=26	南洋理工大学	シンガポール
35	31	=26	香港大学	香港
37	34	14	メルボルン大学	オーストラリア
43	52	15	上海交通大学	中国
44	51	50	復旦大学	中国
53	45	=47	香港中文大学	香港
54	44	42	モナシュ大学	オーストラリア
=55	68	46	京都大学	日本
=55	67	=44	浙江大学	中国
57	74	=137	中国科学技術大学	中国
60	=54	=19	シドニー大学	オーストラリア
62	56	41	ソウル大学	韓国
=64	58	60	香港科技大学	香港
67	62	=34	オーストラリア国立大学	オーストラリア
70	53	43	クイーンズランド大学	オーストラリア
73	=95	=141	南京大学	中国
76	78	=74	延世大学	韓国

82	=99	70	香港城市大学	香港
83	=91	56	K A I S T (韓国科学技術院)	韓国
84	=71	=19	ニューサウスウェールズ大学	オーストラリア
=87	79	=65	香港理工大学	香港
=111	88	89	アデレード大学	オーストラリア
=130	201-250	113	東北大学	日本
=143	=131	72	西オーストラリア大学	オーストラリア
=145	=170	=145	成均館大学	韓国
148	133	90	シドニー工科大学	オーストラリア
149	=163	=100	浦項工科大学	韓国
=150	=139	68	オークランド大学	ニュージーランド
=150	=196	=355	四川大学	中国
=152	=187	69	国立台湾大学	台湾
=158	=176	275	華中科技大学	中国
=164	173	194	武漢大学	中国
=168	351-400	=256	ハルビン工業大学	中国
=175	251-300	80	大阪大学	日本
=177	251-300	=272	北京師範大学	中国
180	175	=130	マッコーリー大学	オーストラリア
=185	251-300	216	同濟大学	中国
=191	301-350	=91	東京工業大学	日本
=193	201-250	254	マカオ大学	マカオ
=199	=193	=189	クイーンズランド工科大学	オーストラリア
=199	174	=266	蔚山科学技術大学	韓国

(タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「World University Rankings 2024」 「World University Rankings 2023」 、 「QS World University Rankings2024」 から作成

新指標に特許など評価法変更

THE は今年のランキング公表に当たって、評価法を変更したことを事前に明らかにしている。日本をはじめアジア・太平洋地域の大学の順位向上の理由の一つになっている可能性が高い。これまでは、「教育」(評価比重 30%)、「研究」(同 30%) 「論文被引用数」(同 30%)、「国際性」(同 7.5%)、「企業からの収入」(同 2.5%) の五つを評価指標とし、それらをさらに細分化した合計 13 項目を評価した合計点で世界の大学を順位付けしていた。

今年の評価法は項目が 18 項目に増え、五つの評価指標の中で全く変わっていないのは「国

際性」だけ。最も大きな変更の一つは「論文被引用数」で、これまでのように被引用数の多い論文の数で評価するだけでなく、引用された論文の重要性など研究の質をより重視する評価法となった。さらに「企業からの収入」は、大学の研究が引用された特許の数という新しい項目が加えられ、評価比重も2.5%から4%に高まっている。このほか「教育」では「博士号授与数と教職員数の比率」と「博士と学士の比率」といった項目の評価比重が下がり、「教育」全体で30%から29.5%へ、「研究」でも「研究助成金」と「論文数」の評価比重がそれぞれ下がり、全体の評価比重が30%から29%へとそれぞれ低下している。

大学の研究が引用された特許の数を見るという新しい評価法についてTHEは、「技術移転を通じて大学がどの程度、国の経済を支えているかは、もっと評価されるべきだ」、と説明している。

重要論文とは何かで評価に差

研究論文の価値をどう見るかでは、THEやQSの大学ランキングと、国際情報サービス会社「クラリベイト」が毎年、公表している「クラリベイト引用栄誉賞」の結果との大きな違いがこれまでも目立っていた。クラリベイトが、医学・生理学、物理学、化学、経済学の4分野でノーベル賞級の研究成果を挙げた研究者として毎年、ノーベル賞受賞者発表の直前に公表している「クラリベイト引用栄誉賞」の今年の受賞者は23人。日本人2人以外はすべて欧米の研究者だ。2002年以降、これまでの受賞者数を見ても日本は36人とアジア・太平洋地域で群れを抜いて多い。

日本以外では、オーストラリア、韓国、シンガポール、香港を研究拠点とする研究者がこれまでそれぞれ2人ないし3人だけで、中国本土からは受賞者が出ていない。「クラリベイト引用栄誉賞」を受賞後、ノーベル賞を受賞した研究者は日本で4人いるが、その他はオーストラリアの研究者が1人いるだけ。「クラリベイト引用栄誉賞」の選考法は、被引用数が多いだけでなくその論文で示された研究成果の主発見者であるか、今後ノーベル賞の対象になりそうな注目領域であるかなど論文の価値をより重視したものとなっている。こうした違いが、日本人研究者の評価の高さにつながっているとみられる。

日文 小岩井忠道（科学記者）

関連サイト

タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「World University Rankings 2024」

[World University Rankings 2024 | Times Higher Education \(THE\)](#)

タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「World University Rankings 2023」

[World University Rankings 2023 | Times Higher Education \(THE\)](#)

クアクアレリ・シモンズ「QS World University Rankings2024」

[QS World University Rankings 2024: Top Global Universities | Top Universities](#)

関連記事

2023年09月27日 [柳泽正史和片冈一则获引文桂冠奖，成为诺贝尔奖有力候选 - 客观日本 \(keguanjp.com\)](#)

2023年07月07日 [QS 世界大学排名 2024：亚洲大学的跃进势头告一段落？ - 客观日本 \(keguanjp.com\)](#)

2023年06月28日 [THE 发布亚洲大学排名：前十中大陆及香港占7所，日本仅东大一家入围排第八 - 客观日本 \(keguanjp.com\)](#)

2022年11月22日 [2022 世界大学声誉排名，亚洲首次有两所大学进入前十 - 客观日本 \(keguanjp.com\)](#)

2022年11月22日 [2022 世界大学声誉排名，亚洲首次有两所大学进入前十 - 客观日本 \(keguanjp.com\)](#)

2022年10月20日 [《泰晤士高等教育》公布世界大学排行榜：中国排名提升，全球研究实力分布出现变化 - 客观日本 \(keguanjp.com\)](#)